

数学科 (数学 I) 学 習 指 導 案					
年 組	1 年 2 組	日 時	6 月 1 1 日 (火) 2 限目	授業者	新海 孝則
教 室	3 3 2 教室	使用教科書	改訂版 数学 I (数研出版)		

単 元	第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ				
指 導 目 標	1 関数の概念やグラフの意味を理解させるとともにグラフを活用する力を養う。 2 2 次関数の特徴をグラフによって理解させ、それらの特徴を利用して、2 次関数の最大値と最小値を求めることができるようにする。	指 導 計 画	1 関数とグラフ・・・・・・・・・・2 時間 2 2 次関数のグラフ・・・・・・・・6 時間 3 2 次関数の最大と最小・・・・5 時間 (本時はその 5 時間目) 4 2 次関数の決定・・・・・・・・2 時間 問題・・・・・・・・・・2 時間		

本時の指導

主題 (教材)	定義域が変化する 2 次関数の最大と最小				
前時の課題	前時の復習をしておく。				
目 標	1 グラフを利用して、定義域を制限したときの最大・最小について理解させる。 2 定義域に文字を含むときの最大・最小について理解させる。				
指 導 過 程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 ・ 評 価 規 準 等	
	導 入	5	○定義域の変化に伴う、最大と最小について確認させる。	○タブレット ○プロジェクタ	
	展 開	25	○最大値をとるのは、定義域の左端と右端及び頂点の 3 通りであることを確認させる。 ○最小値をとるのは、定義域の左端と右端の 2 通りであることを確認させる。	【評価規準】 ○軸と定義域の位置関係から最大値、最小値を協力して求めることができる。 (関心・意欲・態度) (数学的な見方・考え方) 【評価方法】 ○解説動画により評価	
	整 理	15	○最大値、最小値を求めるときに場合分けの考え方を確認させる。 ○定数の変化をグラフで明確にさせる。	【評価規準】 ○既学の学習内容を生かしながら取り組んでいる。 (数学的な見方・考え方) 【評価方法】 ○机間指導による評価	
程 理	5	○2 次関数の最大と最小はグラフの概形と軸と定義域の関係によって決定されることを強調する。			
次時の課題	本時の内容の復習をしておく。				
備 考	普通科 生徒数 40 名 (男子 19 名、女子 21 名)				